

北上市総合計画 2021～2030 令和5年度基本施策事後評価シート（評価対象期間：令和4年度）

基本方針	5.多様な人材が働きやすい環境の向上
基本施策	5-1.雇用環境の整備と労働力の確保
関連するプロジェクト	5.「北上×はたらく」プロジェクト

より多くの女性、高齢者、障がい者、外国人等が働くことができる環境を構築するため、中小企業へのワーク・ライフ・バランスや合理的配慮等の普及とともに、埋もれている人材のスキルアップと就労支援の充実、福祉・医療・介護・農林業分野の労働力確保に取り組みます。

評価項目	A	順調
	B	概ね順調
	C	やや遅れている
	D	遅れている

総合評価	B
------	---

R5事後	11
------	----

※達成状況評価欄の（ ）内については昨年度の評価結果です。

No.	担当部署	プロジェクト	推進方針	成果指標	達成状況(対象:R4) (上段:指標に基づくもの 下段:指標以外のもの)	達成状況 評価	達成状況分析(上段:指標に基づくもの 下段:指標以外のもの)		今後の方向性 (◇:R5に着手予定・着手済み ◆:R6以降の着手を検討)
							内部要因	外部要因	
1	福祉部	●	障がい者の就労支援事業の充実	障がい者の自立を支援するため、すでに障がい者就労支援事業所の施設外就労等を受け入れている企業に対し、一般就労へのステップアップに向けた働きかけ等を推進し、福祉施設から一般就労への移行を促進する。また、福祉施設で働く障がい者の工資引上を目指し、各施設のサービス向上を図るとともに、障害者優先調達推進法など関連する制度の周知に努める。	①② 就労支援施設を利用している障がい者の一般就業者数が減少した。北上公共職業安定所管内企業の障がい者雇用率が微減したが、期待値を上回っている。	B (A)	自立支援協議会就労支援部会が企業向けの障がい者雇用セミナー開催、一般就労希望者情報シートを作成し、マッチングを図った。障害者優先調達推進法など関連する制度の周知を図り、障害者支援施設からの物品調達額が増加した。	コロナウイルス感染症の影響により、就職前の見学や実習の受け入れが困難である企業が多く、一般就業者の数が減少した。障がい者と企業とが相互理解を図る場である就職相談会が開催されず、障がい者雇用のきっかけを作る機会が減少した。	◇自立支援協議会就労支援部会を中心に、企業に対して障がい者雇用についての啓発や事例紹介を行い、雇用希望に対してのマッチングなど適宜支援を行う。関係機関と協力をして、受け入れ先となる企業の開拓を継続する。R5年秋に開催予定の就職相談会において、関係機関と連携し、企業へアプローチするなど障がい者雇用の一層の促進を図る。
2	福祉部	●	介護施設で働く人材の確保	市内の介護サービス事業所等へ就職した人が、離職することなく働き続けるための支援を、関係機関と連携して充実させていく。	②③ ・北上公共職業安定所管内企業の障がい者雇用率は令和3年度より減少したが期待値を上回っている。北上市介護人材確保推進補助対象者数のうち就労継続者は、令和3年度より減少したが、期待値は達成している。 ・北上市介護人材確保推進補助事業について、令和3、4年度と新規申請はなく、近隣の自治体においても、この事業と同種の介護職のための奨学金返済を支援するという目的の事業は伸び悩んでいる。	A (A)	北上市介護人材確保推進補助事業が伸び悩んでいる原因は、北上市介護人材養成補助事業との競合が考えられる。学生の立場になった場合は、補助額の視点から、あえてこちらを選択する必要はない。	介護現場の給与が市内工場等職種に比較して低いため、収入面で魅力的な職場となっていない。	◇令和4年度以降、定住自立圏として、介護人材育成に取り組んでいるが、北上市介護人材確保推進補助事業は効果的な施策とはなり得ず、新規申請を終了して、現在の補助対象者の補助対象期間をもって事業終了とする。(令和7年度)(Uターン者の場合、あえて介護現場を選択しないこと、奨学金返済分を差し引いても他業種との給与水準が違ついていたこと等から)。
3	福祉部	●	多様な人材を生かす取り組み	ジョブカフェ、ひきこもり支援、障がい者就労支援、生活困窮者就労準備支援などの関係機関の協力体制を充実させ、企業や社会福祉法人などとともにユニバーサル就労を推進する。	② 北上公共職業安定所管内企業の障がい者雇用率は増加しており、期待値を上回っている。	B (B)	自立支援協議会就労支援部会で、障がい雇用の求人情報を共有するとともに、企業向けに障がい雇用の考え方、障がい特性への理解、制度に関するセミナー開催した。一般就労希望者情報シートを作成し、マッチングを図った。	R3年3月～障害者法定雇用率が上がる前に、北上公共職業安定所で周知を図ったことにより、雇用率達成企業数が増加した。	◇自立支援協議会就労支援部会を中心に、企業に対して障がい者雇用についての啓発や事例紹介を行い、雇用希望に対してのマッチングなど適宜支援を行う。関係機関と協力をして、受け入れ先となる企業の開拓を継続する。 ◇生活困窮者の自立の促進を図るため、就労準備支援を継続して行う。 ◇ひきこもりネットワーク協議会を活用し、各支援機関のネットワーク機能を強化しつつ、利用者のニーズに即した支援を実施できるような体制の充実を図る。
4	商工部	●	障がい者雇用の推進	労働局との雇用対策協定に基づき、ハローワークに協力して障がい者就職相談会を開催するほか、ジョブカフェさくらによる利用者との相談と受け入れ先となる企業の開拓により企業と就労希望者とのマッチングを図る。	④⑤ 就職率はR3より減少し、期待値を下回っている。管内新規高等学校卒業生求人の充足割合は、R3より0.1ポイント増加し、期待値を上回っている。	B (B)	・ジョブカフェさくらの就労支援を通じて企業と就労希望者のマッチングを図ったことにより、就職率の向上につながった。 ・市自立支援協議会が主催し、事業所、求職者それぞれに向けた「障がい者雇用セミナー」を開催した。	・コロナの影響で障がい者就職相談会を開催することができなかった。 ・コロナの影響により、職場実習等を自粛する企業がある。	◇引き続きマッチング機会の創出及びジョブカフェさくらを通じて就労支援する。
5	商工部	●	人口減少下における労働力の確保	インターンシップの実施支援や企業見学会の開催などにより新規卒業者の市内就職を高めるほか、就職相談会等により、労働意欲がある者と企業とのマッチングを図る。	④⑤ 就職率はR3より減少し、期待値を下回っている。管内新規高等学校卒業生求人の充足割合は、R3より0.1ポイント増加し、期待値を上回っている。	B (B)	・コロナの影響で一部中止せざるを得ない事業もあったが、インターンシップ支援、マッチング機会の創出、市内企業の情報提供、ジョブカフェさくらでの就労支援などの事業の実施により就職率及び高卒者の管内就職率の向上につながった。 ・コロナでインターンシップ自体中止になった企業が多く利用は低調だった ・県も自室共催で企業説明会を開催し、市内企業と大学生の接点を創出した ・北上地区合同就職相談会を開催し、一般求職者と市内企業のマッチングを図った。	・コロナの影響で地元就職志向の高まりがみられた。 ・ハローワークを経由しない、就職活動が増えている。 ・有効求人倍率が2倍前後で推移し、人手不足の状況が続いている。	◇企業訪問を通じた実態・ニーズ把握及び北上市雇用対策協議会の体制強化による東北一円及び首都圏等からの人材確保に向けた取組拡大と高校・大学との積極的な情報交換を行い、連携可能な大学の進路 ◆若者及び学生と相互交流を図っていく。 ◆雇用対策について、従来の「人材確保」が主であったが、今後は「生産性向上等の産業政策」、「人材確保の政策」、「人材定着の政策」の3つを並列に考えることが必要。特に「人材定着」が重要。 ◆3つの政策は、「企業の実業継続性」と、「就労者の雇用環境の向上」に密接に関連するため、企業や就労者の状況を理解し、不足資源を補充する支援を検討していく。
6	商工部	●	中小企業勤労者の福利厚生支援	中小企業における就業環境の充実強化、ワーク・ライフ・バランスの推進を図るとともに、北上地区勤労者福祉サービスセンターのサービス内容拡充に向けた連携を強化する。	④⑤⑥ ・就職率はR3より減少し、期待値を下回っている。管内新規高等学校卒業生求人の充足割合は、R3より0.1ポイント増加し、期待値を上回っている。 ・就労環境に対する意識の高まりなどから認定制度等に参加している事業所数が増加し、期待値を上回っている。	B (B)	ワークライフバランスに関する各種セミナーや、各種事業の周知・広報を図った。	いわて働き方改革推進運動参加事業者が前年比6社(8.4%)増加、いわて女性活躍推進企業等認証制度認定事業者が前年比4社(30.8%)増加していることが全体数値を押し上げている。	◇北上地区勤労者福祉サービスセンターの取り組みを通じて、中小企業の福利厚生支援を継続して行う。 ◇中小企業のワーク・ライフ・バランスに資する情報提供をHP、SNSを通じて発信していく ◇階層別人材育成セミナーを開催するほか、ジョブカフェさくらによる在職者向けキャリア相談対応をおこなう。

凡例 →実績値 — 期待値

指標	指標の説明	実績値							期待値	指標	指標の説明	実績値							期待値	指標	指標の説明	実績値							期待値							
担当部署	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部署	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部署	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部署	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
福祉施設から一般就労への移行者数	福祉施設利用者のうち、就労移行支援事業所等のサービスを通して、一般就労へ移行した人の数。	9	12	19	7				福祉施設	人	9	10	11	12	12	13	14	福祉施設	人	3	9	6	5				福祉施設	人	3	4	4	5	5	6	6	
		実績値									期待値									実績値								実績値								
		備考									備考									備考	累計							備考	累計						累計	
就職率(就職件数/新規求職申込件数)	新規求職申込者(就職希望者)に対する就職した者の件数	46.7	41.1	44.8	43.5				商工部	%	46.7	47.3	47.8	48.4	48.9	49.5	50	商工部	%	34	79	99	109				商工部	社	34	58	83	107	131	156	180	
		実績値									期待値																									
		備考									備考																									
		実績値									期待値																									
		備考									備考																									
		実績値									期待値																									
		備考									備考																									
		実績値									期待値																									
		備考									備考																									
		実績値									期待値																									
		備考									備考																									
		実績値									期待値																									
		備考									備考																									
		実績値									期待値																									
		備考									備考																									
		実績値									期待値																									
		備考									備考																									
		実績値									期待値																									
		備考									備考																									
		実績値									期待値																									
		備考									備考																									